

令和5年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
13	5/2	<p>【外国人労働者の雇用による経済の活性化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者の積極的な雇用受入れ体制を構築し、労働人口不足解消、企業誘致など経済の活性化を図ってはどうか。 	経済総務課	実施済	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化による人口減少や若年者等の市外への転出に伴い、労働人口が減少していることから、本市では各種雇用施策に取り組むとともに、若年者の地元定着に向けた事業などを実施しているところ。 さらに、外国人労働者の雇用促進については、不足する労働力を補う上で重要であることから、これまでに企業を対象とした外国人材の活用に係るセミナーを開催するなど、外国人労働者の受入れに関する制度やノウハウ等の普及啓発に取り組んでおります。 昨年度は、特に有効求人倍率が高く推移している介護分野で、事業所向けのセミナーを実施し、実際に外国人労働者を受入れている事業所と当事者による事例発表を行うなど、受入れ環境づくりに向けた理解の促進を図ったところ。 外国人の雇用については、在留資格等により雇用先の業種が限定されるなどの状況にありますが、現在、国において制度の見直しが行われていることから、今後とも国の動向なども注視しながら、企業向けセミナーの開催など、外国人材の活用に向けた支援を行い、外国人労働者の雇用に向けた環境づくりを進めてまいります。
14	5/12	<p>【旭山動物園での電動車椅子の貸出しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 車椅子の方や介助者の方のために、旭山動物園で電動車椅子の貸出しを行ってはどうか。 	旭山動物園	検討中	<ul style="list-style-type: none"> 旭山動物園では、足が不自由な方向けに車椅子を20台配置しており、電動アシスト機能付きの車椅子も数台稼働しておりましたが、導入から15年ほど経過し、車体及びバッテリーの経年劣化から実用に耐えない状態となったため、現在は貸出しを行っていない状況です。 このため、電動アシスト機能付き車椅子に代わり、介助者を必要としないハンドル型電動車椅子(電動カート)を3台配置し、操作が困難な方には、通常の車椅子でもスムーズに見学できるよう園内配置スタッフによる案内や誘導、一時的な補助による対応を行ってまいりました。 様々な御事情の方が坂道の多い園内でも快適に過ごせ、また介助者の負担軽減につながる電動アシスト機能付き車椅子の再導入に向けて検討してまいります。
15	5/15	<p>【神居への大型店誘致について】</p>	経済交流課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> 大型商業施設は、民間事業者が集客見込みや採算性などを十分に検討した上で、出店の可能性を判断することとなります。 本市といたしましては、引き続き、郊外と中心市街地の活性化のバランスについて考慮しながら都市機能が充実するよう、事業者が出店しやすい環境づくりの方策について検討してまいります。
16	5/22	<p>【青少年育成のための施設建設について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年が宿泊できる施設をつくり、自然学習教育の場と連携し、青少年の育成に役立ててはどうか。 	子育て支援課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘のとおり、本市には現在、青少年を対象とした大規模な宿泊施設はありません。 御提案のありました、200～300人規模が利用できる青少年を対象とした施設の設置につきましては、利用者ニーズの把握のほか、設置場所の確保や建設費等相当の費用が必要になることから、早期の実現は困難ですが、他都市における同様の施設の設置状況や、利用方法、建設費等について、今後調査・研究を行ってまいります。

令和5年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
17	5/22	<p>【犬と共存できる施設について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬と利用できるドッグラン併設のカフェや公共施設をつくってはどうか。 ・他地域から保護犬を受け入れ、譲渡等を行ってはどうか。 ・旭山動物園と連携した取組を考えてはどうか。 	公園みどり課	検討中	<p>・犬と飼い主が楽しく過ごすことができる施設として、ドッグランがありますが、本市では、公園におけるドッグランの整備について検討を進めており、昨年に引き続き、今年もドッグランの試行設置を予定しております。会場及び日程などの詳細が決まりましたら、広報誌やホームページ等でお知らせいたします。</p> <p>頂戴しました御意見を参考にしながら、犬と共存できる公共施設として、ドッグラン実施の取組を進めてまいります。</p>
			動物愛護センター	実施済	<p>・旭川市動物愛護センター「あにまある」は、平成24年の開設以来、市民の皆様や動物愛護団体の協力を得ながら、犬の殺処分ゼロを10年以上継続しているところです。</p> <p>・他県からの保護動物の受入れにつきまして、あにまあるでは平成28年の熊本地震の際、熊本市から要請を受けて、保護猫を受け入れた実績があります。</p> <p>・今後も、道内外の自治体から、災害等により緊急的な保護犬等の受入れに係る協力要請があれば、受入れについて前向きに検討してまいります。</p> <p>・攻撃性の低い猫につきましては、センター内の「ふれあい体験室」で、直接、猫と触れ合えるようにすることで譲渡を推進しています（事前予約が必要です。）。</p> <p>今後につきましても、動物に優しいまちを目指し、旭山動物園とも連携を図りながら動物愛護の取組を進めてまいります。</p>
			旭山動物園	参考受領	<p>・旭山動物園内での受入れにつきましては、病気や他の飼育動物への悪影響が想定されるため、来園制限（ペットの入園禁止）同様、難しいところですが、園外での取組について動物愛護センターと連携し、動物にもやさしいまちの実現を目指してまいります。</p>

令和5年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
18	5/23	<p>【障がい者サポート施設の設置について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市の施設のように、24時間対応の障がい者をサポートする施設をつくってはどうか。 また、この施設で介助犬、盲導犬などの育成も行ってはどうか。 	障害福祉課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者をサポートできる新たな施設につきましては、旭川市内に、札幌市と同程度の総合的な福祉施設は存在していませんが、障がい者をサポートするための総合施設（おびつた）がありますことから、現時点において、新たな施設の創設は検討していません。行政サービスの面では新庁舎開庁による総合窓口化にて、福祉分野における各種手続や相談のワンストップ化が図られます。 ・補助犬（介助犬、盲導犬等）の育成につきましては、旭川市内に専門知識と技術を有する団体が存在しないことから、新たな施設の設置は難しいことを御理解くださいますようお願いいたします。 ・介助支援施設での24時間体制の生活支援につきましては、入所系の障害福祉サービス事業所を利用される障がい者及びグループホームに居住して夜間のサポートを受け、日中は通所系の障害福祉サービス事業所に通われている方につきましては、24時間体制の支援に対応しております。一方で、通所系の障害福祉サービスを利用する在宅の方につきましては、24時間体制の支援は困難ですが、通所系の障害サービスは「日中活動の場」を主な目的として設置されるものであるため、24時間体制による支援の考え方となじまない状況にあります。 ・相談支援という面では、夜間等対応している相談支援事業所も少数ながら存在しており、全市的には24時間体制が整備されております。
		<p>【少子化対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工妊娠中絶等の実態も踏まえて、新たな少子化対策を検討してはどうか。 	子育て支援課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、不育症治療費の助成や相談支援体制の充実、子どもの医療費の中学生までの無償化など、子どもを産み育てやすい環境の充実に取り組んでいるほか、将来親になる小中学生等に子育ての楽しさや喜びを伝える出前講座などを行っております。 ・今後は、引き続き子育て環境の充実に取り組むとともに、出生率の向上は全国的な問題でもあることから、国の動向等を踏まえ、必要に応じた対応を検討してまいります。
19	5/23	<p>【企業誘致について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ないことや、欠航が少ない空港を生かした企業誘致を行ってはどうか。 	企業立地課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、食品関連産業、家具等インテリア関連産業、機械・金属関連産業、物流関連産業、IT関連産業を重点業種として誘致活動に取り組んでおり、災害が少ない特徴や旭川空港の高い就航率をはじめとした本市の立地優位性や魅力について、首都圏等での展示会やセミナーにてPRを行っております。また、進出企業に対しては情報提供、フォローアップ等も適宜行っております。 本市の産業活性化に寄与するよう、引き続き企業誘致活動を推進してまいります。

令和5年度「旭川未来創造ポスト(アイデアポスト)」検討結果一覧

No.	受付月日	意見概要	担当課	検討結果	検討内容
20	5/24	<p>【買物公園での低速電動バス導入について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭川駅、買物公園等を巡回する低速電動バスを導入してはどうか。 	地域振興課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> 買物公園は、車両の通行が常時制限されている歩行者専用道路であり、低速電動バス(グリーンスローモビリティ)を含む車両を通行させることは現状では困難です。 令和5年4月に改正道路交通法が施行され、遠隔操作型小型車や移動用小型車などのモビリティの歩道での通行が可能となりました。 東京の丸の内などの地区においては、歩行者専用道路となる時間帯において、歩行者とこうしたモビリティとの共存の受容性を検証する社会実験を行っているなど、モビリティを活用できる環境づくりへの取組が拡がりをみせています。 令和5年5月に設置した「買物公園のあり方検討会議」において、買物公園の利用価値を高めるための様々な検討を行うこととしており、今後も参加者の意見等を伺いながら、買物公園の規制面の整理や、様々なモビリティの特長なども踏まえた、活性化に向けた取組の検討を行ってまいります。
21	5/31	<p>【大型データセンターの誘致について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震発生率の低さや、寒冷地であることなど、立地の良さを生かし大型データセンターを誘致してはどうか。 	企業立地課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> データセンターは、基本的に民間事業者が採算性等を考慮して設置し、ビジネスとして運営する施設です。 政府においては、民間事業者が重視する事項を有識者会合で整理し、東京圏・大阪圏に集中する国内のデータセンターを地方に分散するための施策を進めているところです。 有識者会合が令和5年5月に公表した「中間とりまとめ2.0」では、北海道と九州を優先エリアとした上で、とりわけ石狩、札幌、千歳及び苫小牧を含むエリアを評価しており、千歳市に進出が予定されているラビダスも、このエリアにデータセンターを含めた半導体関連産業の集積を図る「北海道バレー構想」を打ち出すなど、国家的事業として進行しています。 現時点で本市に大型のデータセンターを誘致するには課題が多いものと認識しておりますが、令和5年度からは、IT関連企業の誘致を加速するため、スモールスタートでも活用でき、他都市と比べても優位性のあるIT企業進出支援補助金を創設したところです。 引き続き、情報収集するとともに、自然災害が少ないなどの優位性をアピールし、時機を逃すことなく必要な誘致活動を行ってまいります。
22	6/5	<p>【旭川駅、空港、動物園を結ぶモノレールについて】</p>	都市計画課	参考受領	<ul style="list-style-type: none"> 旭川駅・空港・動物園へのアクセスにつきましては、市民のほか観光客など旭川を訪れる方々の移動手段として、利便性向上に向け検討が必要な課題として取り組んでおります。 御提案のありましたモノレールのほか、バス利用の更なる充実など、交通事業者との協議をはじめ、整備費や維持管理費、また財源確保なども含め、利用しやすい公共交通の確保に向け様々な手法を検討してまいります。